

平成 30 年度 第2回定例会 報告

- 【日 時】 平成 30 年 10 月 18 日(木)13 時 30 分～15 時 30 分
【場 所】 瀬戸内町 きゅら島交流館
【参加人数】 45 人(見学:なのはな園 10 人、ゼログラビティ 25 人)
【資 料】 部会報告書、施設紹介書類 他

※敬称略

-
1. 開会挨拶 全体進行:稲田(瀬戸内町)
瀬戸内町保健福祉課 課長(徳田)
 2. 事業所及び活動の紹介
 - 1)ゼログラビティ:山下豊(パンフレットあり)
完全バリアフリーのアクティビティと宿泊施設の紹介
 - 2)島の保健室:中村幸代(別紙資料あり)
瀬戸内町加計呂麻島における「困りごと」に対応する活動紹介
 - 3)各部会からの報告(別紙資料あり)
 - ・精神部会(ゆらい 安田)
 - ・相談支援部会(ぴあリンク 近藤)
 - ・子ども部会(ぴあリンク 福崎)
 - ・就労支援部会(なかボツ 木場)
 - ・地域生活部会(ぴあリンク 大津)
 - 4)バリアフリーウォッチング状況報告(福崎)
 - ・進捗状況と、トイレのみではなく、アクセスのための駐車場からのルート整備や表示方法についての提案
 - ・障がいのある人の駐車場の整備について提案(次回定例会で詳細を説明予定)
 - 5)チームせとうち“我が事丸ごと”支え愛事業について説明(別紙資料あり:稲田)
 3. 意見交換 協議進行:津村(星窪きらり)
テーマ「災害支援について」
 - ① 自主避難所の運営の課題の報告(稲田)
 - ② 災害時の各事業所の取り組み
⇒入所施設(滝の園、大原)、通所施設(ライトハウス、武原)、相談支援事業所(わかば、大山)
 - ③ 台風等、災害時における障がいのある人への支援(避難所支援を含む)について協議する
(別紙とりまとめあり)
⇒グループワークで得られた意見を集約し、協議会として各構成市町村へ提出する。
 4. その他
連絡事項(研修会等の案内)
 5. 閉会の言葉
奄美市福祉政策課 課長(奄美地区地域自立支援協議会会長)石神

*事務局・運営委員会振り返り(15:40～16:00)

参加者(川畑、牧、松山、稲田、津村、有村、木場、福崎、近藤、大津)

◆GW(グループワーク)について

- ・定刻に終わったのはよかった
- ・進行が追加で質問をして GW 意見を引き出した。(活発に多く意見が出た)
- ・全体進行が安定していたので落ち着いてできた。
- ・ある程度事前準備をしていたのがよかった
- ・焦点を絞った GW だったのでもう少し時間があつたらよかったかもしれない…
- ・今までの GW の中で一番良かった、発表もまとめやすかった
- ・GW の内容がタイムリーな議題で、グループ分けが多職種になっておりいろんな立場の意見をきくことができた
- ・課題が浮きぼりになると定例会にも絞って次につなげていきやすい

◆報告方法について

- ・参加者は前半40分報告で説明を聞くだけになるので大丈夫か不安がある。半ばにワンクッション入れた方がよいのでは…
- ・スクリーンの前で発表すれば、パワーポイントと連動し、より伝わりやすく聞いている側も下を向きっぱなしにならない(顔を挙げさせる工夫が必要)。
- ・前回の定例会について簡単に概要「こうでした…」の説明をして始まる方がよい

◆全体的な内容について

- ・地元の体験ができたのが良かった。
- ・日頃、部署でしか活動できてないスタッフに、利用者がどういう環境(施設)で生活しているのか見学させることができた。
- ・瀬戸内は遠く一日がかりである。そのような開催地の時(地域)は見学含めて今回のような内容がよい

◆次回にむけた要望意見

- ・次回は滝の園、GH、施設と村営住宅などの見学できるとよい。